

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol. 9 冬季から結実確保のための準備に取り組もう!

「マメコバチは、ほったらかしにすると**減少**の一途です」

マメコバチは結実確保の大切な功労者！
 しっかり**繭洗浄**を行い、マメコバチの**天敵被害**を防ごう！



マメコバチ

1 ヨシ巢の確認

○古いヨシ巢は**天敵**に寄生されている場合がある



コナダニ類

カツオブシムシ

← 古いヨシ巢を放置すると…

年々、**天敵**が増加し、
マメコバチが**減少**する！

○定期的に**ヨシ巢**を**更新**し、マメコバチを天敵から守ろう！



入口がふさがっていても中で天敵が蔓延

← 古いヨシ巢を
巣箱に放置
していませんか？

・4年以上の古いヨシ巢内の繭は、**ほぼ全滅**
 ・古いヨシは、**天敵多発**の要因
 ↓
3年を目安にヨシ巢を更新



古いヨシ巢の内部
(コナダニ類による被害大)

2 繭洗浄の実施

○コナダニ類等の天敵被害を防ぐには、**繭洗浄**が効果的

(1) 実施時期

11月～3月上旬

(注) 遅くとも3月上旬までに繭洗浄を終了する！

(2) 準備するもの

接木ナイフ、ステンレスボウル、ザル(2mm目程度、ステンレス製)、冷水(水場)、網しゃくし、ハケ、育苗箱、新聞紙、紙箱(繭保管用)

(3) 注意点

- ・2～3年以上経過したヨシ巢を中心に行う
- ・気温が低い場所で、冷水を用いて行う
- ・繭をつぶさないように扱う
- ・切開時に出るゴミは適切に処分する

洗浄前



洗浄後



(裏面(2枚目)に続く)

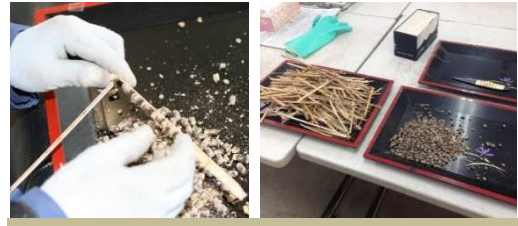
(4) 作業手順

① 巣筒を切開する



・巣筒の端に接木ナイフを当て、上に持ち上げるように切開する

② 繭を取り出す



・巣筒から繭をつぶさないように取り出す
・切開後のヨシ等は適切に処分する

③ 繭を冷水に浸す



・ステンレスボウルの中に繭を入れ、水を注ぎ、繭の表面全体が濡れるように浸し、かき混ぜるようにして汚れを落とす（約1分）

④ 繭を洗浄する



・ザルをステンレスボウルの上にセットし、網しゃくして繭をザルに移し、ザルに冷水を入れたら刷毛で繭をザルに優しくこすり付け、繭表面の汚れを落とす（約3分）

※上記の手順を3回程度繰り返す

網しゃくしとザルは、天敵がうつらないように洗浄・交換しながら使用する

⑤ 繭の乾燥・保管



・新聞紙の上に繭を広げ、冷暗所で約2日間乾燥させる（※乾燥中、ネズミの食害に注意）
・乾燥した繭を紙箱に入れ、冷蔵庫等で保管

繭洗浄を行って、
マメコバチを増やし、
結実確保に努めましょう！

3 洗浄繭の設置

(1) 設置時期

佐藤錦の発芽 10 日後頃
(3 月末～4 月上旬)



↑ 設置時期の花芽

(2) 注意点

ヒヨドリやスズメも天敵となるため、
巣箱には**必ず防鳥ネット**を設置しましょう！

保管時の紙箱に鉛筆の太さ程度の
穴を複数あけて巣箱に設置↓



目指そう豊作、高品質！結実対策を徹底しよう！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL 023-621-8291

TEL 0237-86-8215

TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課)